



学校だより

平成30年9月28日

横浜市立高田中学校

10月号(第30-07号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

燃えろ 高田魂!

副校長 河野 正美

10月を迎え、早いもので平成30年度も折り返し点を迎えました。10月という月は高田祭合唱の部(合唱コンクール)、高田祭文化の部と本校の三大大行事のうちの二つが盛り込まれている、ある意味1年で最も忙しい月です。試験が終わった余韻に浸るまもなく、学校中がこの大きな行事への準備、取組にてんやわんやになっています。職員室にいても練習の歌声は大きく届きます。いつの間にかこちらにも引き込まれ気づくと一緒に口ずさむ自分がいます。



泣いても笑っても合唱本番は10月16日(火)です。そのときに照準を合わせ限られた練習時間をどう過ごすのか。悔いのないようにやってほしいと思っています。今歌っている合唱曲は決して好きなものではないかもしれない。それを歌わねばならない思春期まっただ中の生徒たちの中には、やりたくないという投げやりな気持ちや朗々と歌う事への気恥ずかしさ、下手だと周りから言われるのではないかという懸念から、おちゃらけてしまったり、その時間自体が苦痛な生徒もいるかもしれません。また逆にしっかりやりたい、みんなでまとまってすがすがしく歌いたい、上手に気持ちよく歌いたい生徒もいます。そんないろいろな思いが1つのクラスには渦巻いています。教員はそんな一人ひとりの気持ちをどう昇華してあげられるかと毎日必死です。担任として副担任としてこの子たちに何ができるか、この場でどんな話をすればいいのかと。毎日職員室はその話題で持ちきりです。皆で声を合わせて気持ちを込めて歩調を合わせて歌いあげること・・・それは学生時代のこの時期にしか経験できない、ひとりでは決して体験できないことだと。どうかその素晴らしさを生徒に体感してほしい、良い思い出にしてあげたい。そのために何ができるかと。今の時代はインターネットであつという間に疑問が解決する時代です。そんな世の中だからこそ、自分の思いを周りに語り、周りの思いを感じ取って歩調を合わせ1つの物を創りあげるその過程を体感してほしいのです。

生徒たちがこれから10月16日までどう創りあげていくのか。笑いあり、涙あり、怒りあり、苦しさあり・・・それをしっかり受け止めながらどの生徒も最後には「がんばった」「よかった」と思えることを願っています。保護者、地域の皆様にはどうかこの日に至るまでの子どもたちを支えていただき、当日温かく見守っていただけますようによろしくお願いいたします。

また合唱の二日後には高田祭文化の部、そして午後には創立30周年記念式典が行われます。高田の伝統を大切に守り深く感じ入れる時間を過ごしていきたいと思っております。併せましてこの大切な2つの行事もよろしくようお願い申し上げます。保護者、地域の皆様にはいつも温かいご支援、ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

横浜子ども会議

7月11日(水)、高田東小学校にて「横浜子ども会議～高田中学校区 ブロック会議～」、8月29日(水)に港北警察署にて、「横浜子ども会議」が行われました。この「横浜子ども会議」とは平成25年から始まった横浜市独自の取り組みで、子どもたちが自分とまわりの人や社会との関係をみつめ、主体的な具体の取組を行う姿をめざすものです。今年度のテーマは「だれにとっても居心地の良い学校づくり」で、会議では昨年度の取組を振り返りながら、「どのようにだれにとっても居心地のよい学校が出来るだろうか？」という視点で話し合いがすすめられました。会議は、児童・生徒自身が、自分たちには何ができるか具体的な取組を考える形式で、その後他校の代表者たちに高田ブロックの考えを発表しました。両日とも、本校ブロック代表の児童・生徒6名も真剣に「いじめがない子ども社会」をつくるために、どのような取組をしたら良いのか、またどんな自分になりたいかについて話し合いました。また8月29日の本会議では、「非行防止少年サミット」と共催し、さらに活発な話し合いが展開されました。本校からは3年3組 清水彰英さん・2年3組 富本崇正さんが参加し、「万引き等の人の物をとる行為」「金銭に関わる不適切な行為」というテーマで小学生・高校生と意見交換をしてきました。



横浜子ども会議に参加して

2年3組 富本崇正さん

横浜子ども会議のテーマは、「だれにとっても居心地の良い学校づくり」でした。その中で、すべてのグループの発表を聞いてみて驚いたことがありました。それは、この会議のテーマを達成するために行っていた取組として「あいさつ運動」が入っていたことです。高田中学校でも、「あいさつ運動」は行っており、これを継続することで「だれにとっても居心地の良い学校づくり」につ

ながっていくということが、この会議を通して分かったので、これからも頑張っていきたいです。

非行防止少年サミットに参加して

3年3組 清水彰英さん

私は非行防止少年サミットに参加してきました。今回、初対面の方々と話し合ってみて、一つの問題にも多くの解決策が出るものだなと感じました。例えば、私は「万引き」について話し合いましたが、“犯罪防止の啓発ポスターを掲示する”“防犯カメラの設置”などの設備面での未然防止策と、一人ひとりの意識を高めることが大切だという個人の内面に関わる提案もありました。今回の非行防止少年サミットのような場を設けることで、万引きやネット上でのいじめなどの行為は絶対にやってはいけないことであることを再認識することができ、それらの問題について真剣に考え、他者と意見交換をしながら解決策を探ることができました。今後も続いていってほしいなと思いました。

学校保健委員会

9月19日(水)の午後3時より、本校格技場で学校保健委員会が開催されました。学校保健委員会とは学校における健康の問題を研究協議し、それを推進するための組織で、保健委員、保護者、学校医(学校薬剤師)、養護教諭などの方々に構成されています。今年度は高田小、高田東小の保健委員の代表も参加し、中学校の学校保健委員会を体験してもらいました。

当日の内容は、①高小、高田東小の健康会議の報告、②今年度のテーマ「心の健康」について事前に実施したアンケート結果の報告、③ストレスについて調べたことの発表、④スクールカウンセラーの川崎先生によるワークショップ、といったものでした。保健委員長さんからは「高田アクション ～高中生が居心地の良い学校生活を送るために～」の提案がなされました。ワークショップでは、適切なコミュニケーションをとるためのスキルや呼吸法などが紹介されました。短い時間でしたが、参加した児童・生徒は真剣に取り組み、有意義な会となりました。



全国学力・学習状況調査 結果について

4月17日に、3年生を対象として実施された全国学力・学習状況調査(国語、数学、理科)の結果について報告いたします。

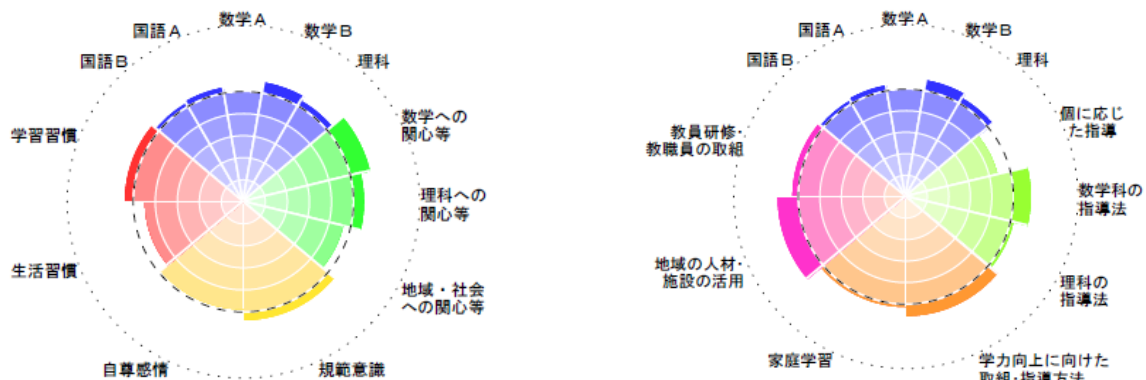


図1. 生徒質問紙(全国基準との比較) 図2. 学校質問紙(全国基準との比較)

図1, 図2とも内側の破線上の円は、全国平均値を表しています。図1(生徒質問紙)から、各教科とも概ね全国基準値に達していることが分かります。一方で、特に数学A(知識)においては、空間図形や資料の整理、確率において定着が不十分な内容があるという結果が見られました。数学B(活用の力)は高い値を示していることから、今後もまずはどの生徒にも基礎的・基本的な知識や技能を確実に定着させ、学習内容をその先に生かす力を一層高めていくことが必要になると考えます。生徒の学習に対する関心は高いことから、個に応じた指導の一層の充実を図るための具体的方策について検討していきたいと思えます。

また生徒質問紙の結果から、「規範意識」や「学習習慣」については全国基準を上回っているものの、「生活習慣」については低い値を示しています。「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」については、全国標準より6ポイント、「毎日、同じくらいの時刻に起きているか」については、12ポイント以上下回っています。これまで以上に家庭と連携して、規則正しい生活習慣を身に付けることができるような生活改善指導を展開していく必要があると感じています。

また、「地域・社会への関心」が低くなっている点が気になります。学校質問紙における「地域の人材・施設の活用」については、全国基準だけでなく、本校前年度と比べてもかなり高くなっています。現在、学校・地域コーディネーターの協力を得ながら放課後学習会を実施するなど、『地域とともにある学校』の実践に努めているところです。今後とも様々な面でご協力をいただきながら、地域での活動にも積極的に参加する意識を醸成していきたいと考えております。

「自分にはよいところがあると思う」「先生はよいところを認めてくれている」と感じる生徒も多く、これからも高田の子たちが自尊感情を高くもち続けられるよう、学校行事や日常活動を通して自他のよさを認め合える場面を多く設けるなど、自信をもって何事にも挑戦できるよう指導、支援していきたいと思えます。